



トルコ政府青少年スポーツ省との交流

9月2日、トルコ国青少年省の行政官ら10名が能登の被災状況を学ぶ研修を行いました。本来は実際に訪問される予定でしたが、台風の影響でオンラインでの視察になりました。当日は通訳を介して能登高生とトルコ政府関係者の方々が交流しました。また、塾生2名は震災の体験談を発表し、その後トルコチームとの意見交換も行いました。

生徒は外国の政府関係者らとの交流を新鮮な体験だったと話していました。また、意見交換や体験の発表は全てトルコ側の通訳を介して行われました。異文化、異言語の環境でのコミュニケーションは参加した生徒にとっては貴重な体験になったと思います。



トルコ政府青少年スポーツ省との交流



トルコ政府青少年スポーツ省との交流

卒塾生の夏休み

大学は夏休みシーズンですね。遠方に進学した卒塾生たちが、帰省中に遊びに来てくれました。卒塾生たちは7、8名で集まって大学生活の近況やそれぞれの体験を話していました。大学ごとの忙しさの違いや、アルバイトの失敗談、サークルから就職活動まで。大学生になってからの悩みは高校生のとくと全く違いますね。卒塾生がそれぞれの道で頑張っている様子で、まちなか鳳雛塾にも活気が出てきています。

卒塾生の中には、帰省中に花火大会をしたり、ネイルをしたり、自作の苔テラリウムを販売したりと能登町内で活躍している元生徒もいました。卒業後も能登町に関わっているみんなのパワーで、町も活性化していきます。



ござれ祭りで自作の苔テラリウムを販売



まちなかネイルサロン

みらいハイスクールイベント

9月4日、まちなか鳳雛塾を会場として「みらいハイスクール」のオンラインイベントが開催されました。みらいハイスクール共創校に参画している全国の高校の間で留学やオンラインコースなどの越境体験ができるプロジェクトで、能登高校もその共創校の一つになっています。能登の他には、ドルトン東京学園や広島県立大崎海星高校、北海道大空高等学校など全国各地に全12校が共創校として参画しています。

今回は「地域みらいキャリア2024 まなび探究コース」の一貫でこれからの進路とまなびを考えるためのワークショップが開かれました。ゲストに「さとのば大学」発起人の信岡良亮さんが参加し、高校生とともにロールモデルとの出会いやこれからの進路について考えました。ワークショップはオンラインで開催され、まちなか鳳雛塾会場の能登高校生以外にも、他校生が数名参加していました。

さとのば大学はキャンパスがなく、全国各地を転々としながら学びの体験ができる市民大学です。多様な学びのあり方と作る新しい大学です。

大学受験において、総合型選抜などの高校での実績を問われる入試形式が増えています。今まで一般的だった一般受験（いわゆるペーパーテストの成績で合否が決まる入試）の合格枠は、現在では全体の半分より少なくなっています。高校での探究学習がそのまま大学受験につながるなんて、20年前では考えられませんでしたね。



WebexBoard を活用したオンライン開催

中学生英会話クラス廃止について

まちなか鳳雛塾では毎週金曜日に松村レオナルド大地さんによる中学生英会話クラスを開いていました。追加料金なしで英語・英会話を学べる機会として設定していましたが、最近の英会話クラスの利用率の低下に伴い中学生英会話クラスの時間を廃止します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、引き続き火/金17-19時の中学生クラスは開講します。見守りスタッフの松村佑月さんが参加し、質問対応や相談にあたっていただきます。また塾生による教室の自習利用は開塾中いつでも可能です。スタッフによる質問対応も行っているため、ぜひ積極的にご利用ください。

お知らせ

中学生クラスは定員に達したため入塾受付を停止しております。入塾をご希望される方は、定員が空き次第ご連絡いたしますので、お問い合わせください。

